

# 台車用多重伝送装置

T L D - M (親局)

パラメータ設定用ソフト

取扱説明書

作 成：2002年 8月23日

・ 東朋テクノロジー株式会社

目次

1. コンソールについて.....	2
1.1. 動作環境.....	2
1.2. 通信仕様.....	2
1.3. 専用ソフトについて.....	2
1.4. 起動方法.....	2
1.5. 接続方法.....	3
2. 画面操作について.....	4
2.1. メニュー画面.....	5
2.2. 設定値読出し.....	5
2.3. 設定値モニタ.....	6
2.4. 設定値変更.....	7
2.5. 設定値一括書込み.....	9
2.6. データモニタ(連続).....	9
2.7. デフォルト設定.....	10

## 1. コンソールについて

台車用多重伝送装置・親局(TLD-M)に、パソコンを接続し専用ソフトを起動することでコンソールとして動作します。

### 1.1. 動作環境

	PC-98xx を使用の場合	DOS/V 機を使用の場合
OS	MS-DOS V3.3 以降	Windows98 , Windows98 SE の MS-DOS モード
通信ポート	標準シリアルポート	COM1 ポート

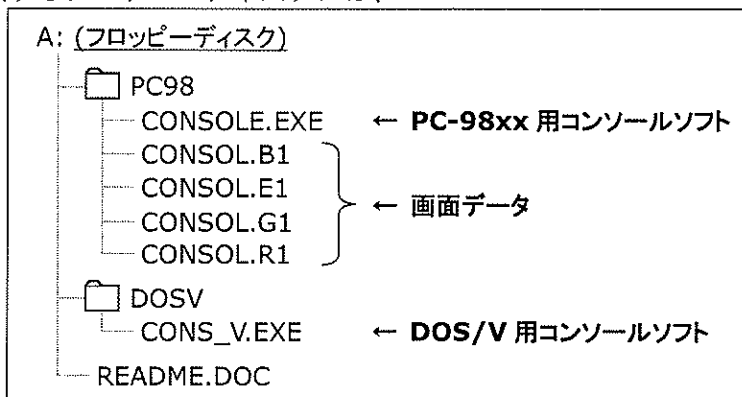
### 1.2. 通信仕様

ボーレート … 9600bps  
 データ長 …… 7bit  
 ストップ …… 1bit  
 パリティ …… 偶数

いずれも、専用ソフトで自動的に設定しますので意識する必要はありません。

### 1.3. 専用ソフトについて

提供するフロッピーディスクには、



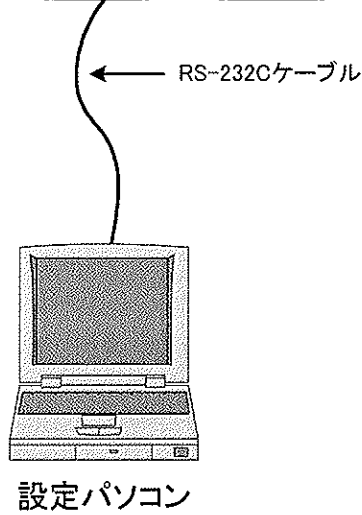
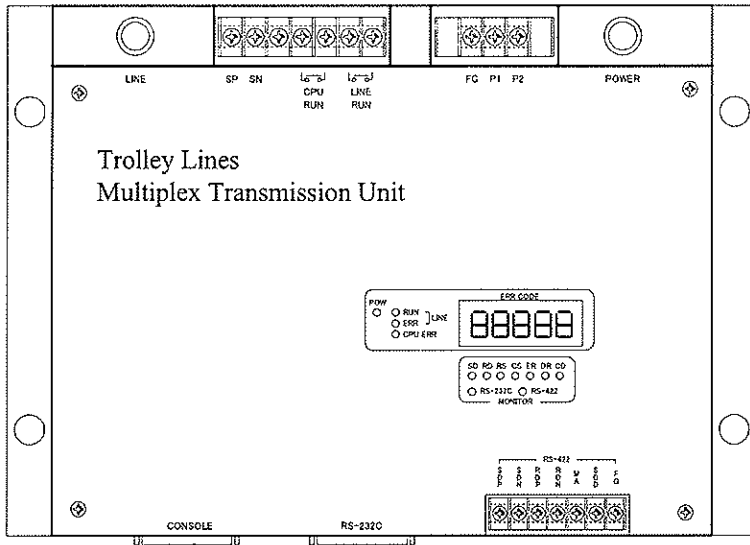
このように収録されています。

### 1.4. 起動方法

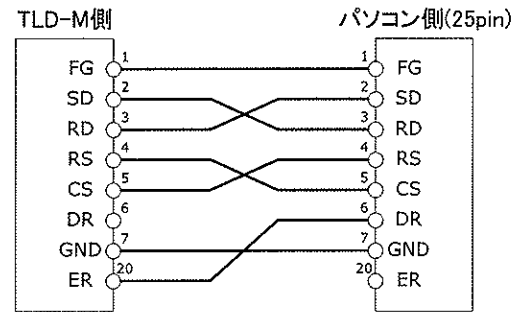
- ① MS-DOS プロンプトの状態、フロッピードライブに切替えます。  
 フロッピーが A ドライブの場合 C:¥> A:
- ② ディレクトリを変更します。  
 PC-98xx の場合の例) A:¥> CD ¥PC98  
 DOS/V の場合の例) A:¥> CD ¥DOSV  
 ※ 下線部分を入力します。
- ③ ファイル名を指定して実行します。  
 PC-98xx の場合) A:¥PC98> CONSOLE  
 DOS/V の場合) A:¥DOSV> CONS\_V

※ Windows で御使用される場合、③のファイルを直接ダブルクリックしても動作します。

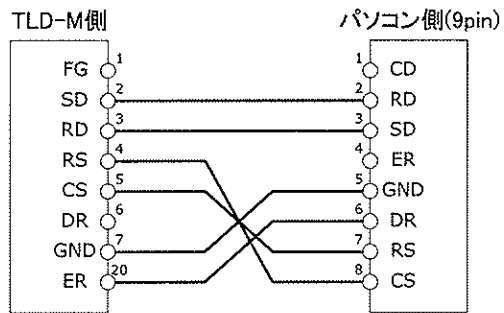
### 1.5. 接続方法



#### 推奨RS-232Cケーブル配線 (25pin-25pin)



#### 推奨RS-232Cケーブル配線 (25pin-9pin)



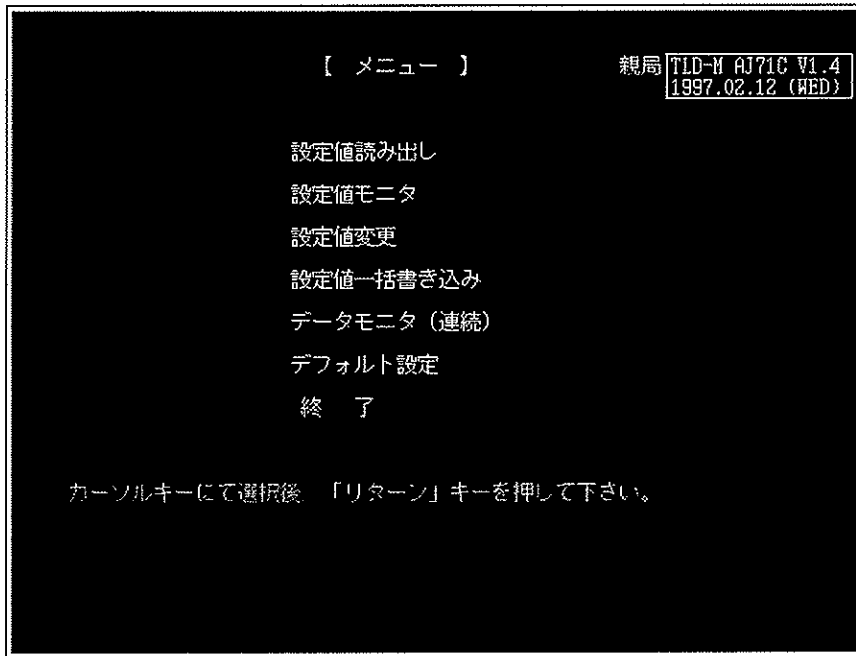
## 2. 画面操作について

コンソールが立上がると以下の画面が表示されます。



親局との通信が正常に行えると、次ページのメニュー画面が表示されます。

## 2.1. メニュー画面



- < 機能 >  
処理を選択します。
- < 画面 >  
処理メニューが表示されます。  
画面右上には、親局のソフトバージョンが表示されます。
- < 操作 >  
カーソルキーでカーソルを目的の処理のところに移動した後、リターンキーを押します。
- < その他 >  
他の画面から、この画面に戻すには「F10」キーを押します。

## 2.2. 設定値読出し

- < 機能 >  
現在接続されている親局の設定値を読み出します。
- < 画面 >  
専用画面は有りません。メニュー画面のまま実行されます。  
実行中は、画面左下に「実行中」が表示されます。
- < 通信異常発生時 >  
画面左上にエラーメッセージが表示され、ブザーが鳴ります。  
その後、メニュー画面に戻ります。

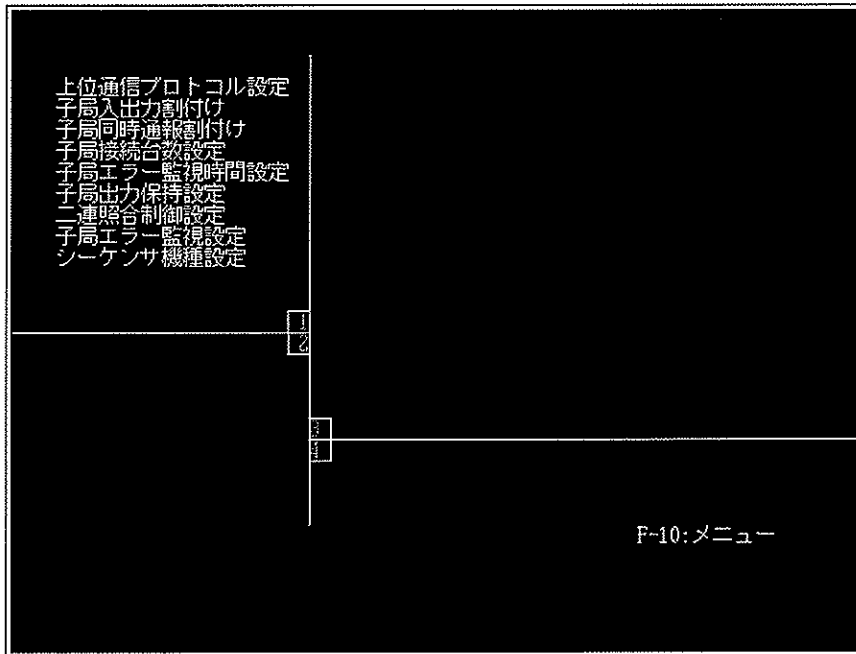
## 2.3. 設定値モニタ

上位通信プロトコル	[フレーム] CR [ポート] 19200 [キャラクタ長] 8bit [パリティ] 偶数 [ストップ] 1bit [BCC] 有 [ポート] 232C
子局入出力割付け	入力 16ch 出力 8ch
子局同時通報割付け	0点
子局接続台数設定	032台
子局エラー監視時間設定	0.0 sec
子局出力保持設定	[0-3]無し [4-7]無し [8-11]無し [12-15]無し
二連照合制御設定	二連照合有り
子局エラー監視設定	01回目
シーケンサ機種設定	三菱 A2Nシリーズ

F-10:メニュー

- < 機能 >  
全ての設定値を表示します。
- < 画面 >  
各設定項目に対する設定値が表示されます。
- < 操作 >  
「F10」キーでメニュー画面に戻ります。

## 2.4. 設定値変更



F-10:メニュー

### < 機能 >

各設定項目ごとに設定値を入力・変更します。

### < 画面 >

画面は4分割されています。

操作対象画面は、各画面端の番号表示の色が変わります。

### < 操作 >

画面は4分割されています。

前の番号に戻るには「ESC」キーを押して下さい。

**1** — 設定項目を選択します。

操作方法はメニュー画面と同様です。

リターンキーを押すと**2**又は**3**に進みます。

**2** — 更に選択項目がある場合のみここで選択します。

操作方法はメニュー画面と同様です。

**3** — 設定の入力・変更を行います。

カーソルキーで選択するものと、直接データを入力するものがあります。カーソルで選択する場合は、カーソルが表示されますので、**1**と同様に選択して下さい。直接数値を入力する場合は、「数値を入力して下さい」と表示されます。

つづく



4 ー 確認を行います。

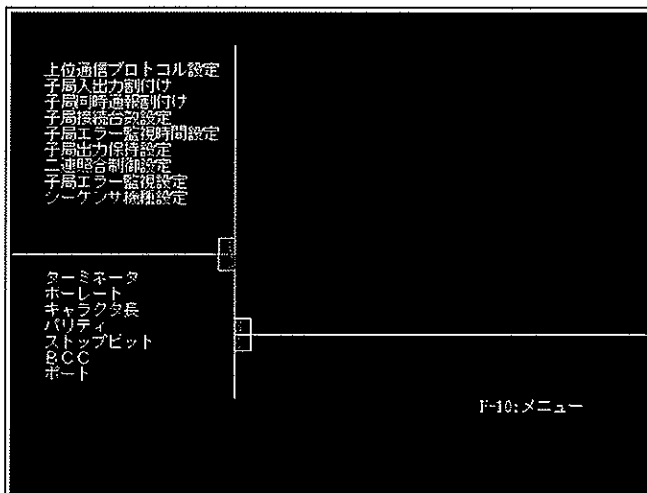
カーソルキーで「確認」か「修正」かを選んでください。

画面3の設定が良ければ「確認」側にしてリターンキーを押して下さい。親局に設定値を書込みます。  
また、画面3の設定が誤りならば「修正」側にしてリターンキーを押して下さい。画面3に戻ります。

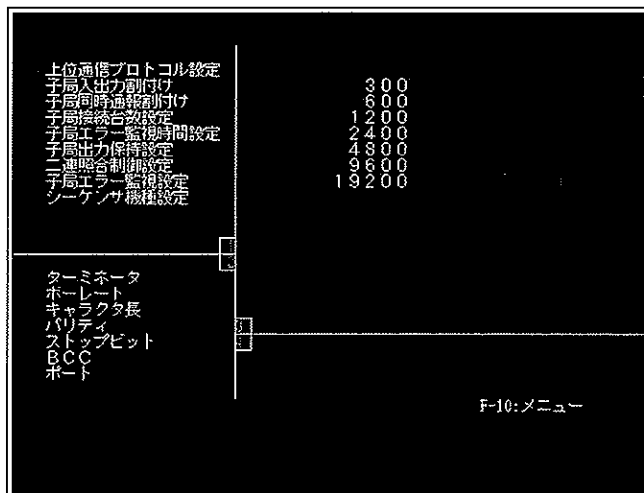
<通信異常発生時>

4で確認後、親局へ送信する際に通信異常が発生した場合、設定値は設定する前の値に戻ります。

2



3



4



## 2.5. 設定値一括書込み

### < 機能 >

現在接続されている親局に全ての設定値を書込みます。

### < 画面 >

専用画面は有りません。メニュー画面のまま実行されます。  
実行中は、画面左下に実行中が表示されます。

### <通信異常発生時>

画面左上にエラーメッセージが表示され、ブザーが鳴ります。  
その後、メニュー画面に戻ります。

## 2.6. データモニタ(連続)

通信終了		マスター局状態 : 正常		ホスト間通信状態 : 正常		スキャンタイム : 2.5 msec		子局数 : 32 台					
子局No.	エラー	入力データ				出力データ							
		HEX	15	--	BIT	--	0	HEX	15	--	BIT	--	0
1	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
2	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
3	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
4	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
5	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
6	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
7	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
8	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
9	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
10	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
11	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
12	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
13	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
14	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	
15	■	0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000		0000	0000000000000000	

■送信エラー ■受信エラー

F-1:子局指定 F-5:次の子局 F-6:前の子局 F-10:メニュー

### < 機能 >

子局Noごとに、その入力データと出力データを表示します。

### < 画面 >

画面上部の表示は、

「マスター局状態」…親局—子局の間の多重伝送が正常かどうか。

「スキャンタイム」…親局—子局の間の1c h当たりの多重伝送速度。

「ホスト間通信状態 及び その詳細」…親局—シーケンサ間の通信状態。

を表示します。

また画面中央に、親局—子局間のデータを表示します。

「入力データ」は、子局→親局→シーケンサのデータ。

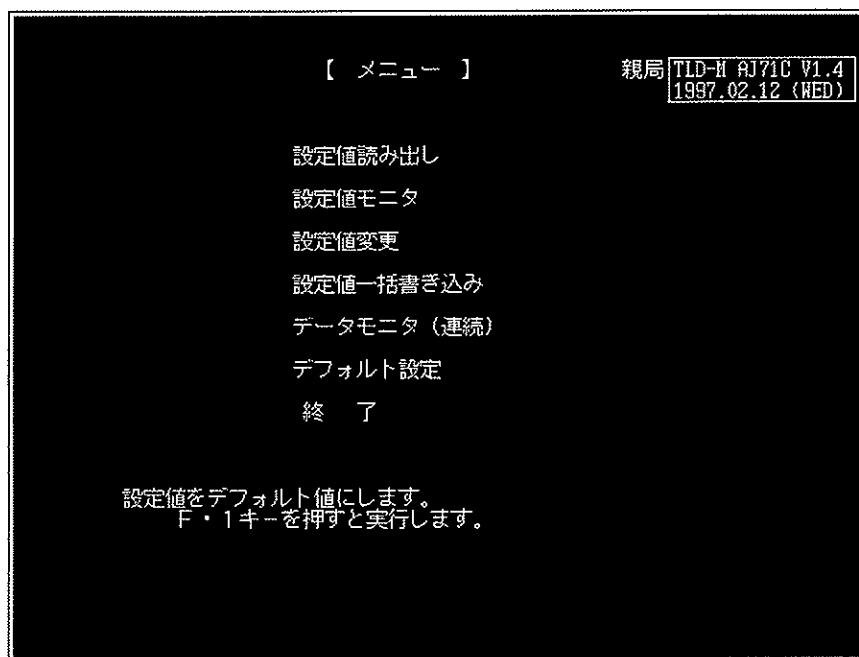
「出力データ」は、シーケンサ→親局→子局のデータ。

### <通信異常発生時>

画面左上にエラーメッセージが表示され、ブザーが鳴ります。

その後、メニュー画面に戻ります。

## 2.7. デフォルト設定



### < 機能 >

全ての設定値をデフォルト（初期値）にします。

### < 画面 >

専用画面は有りません。メニュー画面のまま実行されます。  
実行中は、画面左下に実行中が表示されます。

### < 操作 >

画面下に「F 1キーを押すと実行します。」と表示されたら、F 1キーを押して下さい。全設定をデフォルトにします。

### <通信異常発生時>

画面左上にエラーメッセージが表示され、ブザーが鳴ります。  
その後、メニュー画面に戻ります。

### <デフォルト設定値>

項 目		三菱	シャープ	オムロン
上位通信プロトコル	ターミネータ	CR		
	ボーレート	19200 bps		
	キャラクタ長	8 Bit	7 Bit	
	パリティ	偶数		
	ストップ	1 Bit	2 Bit	
	BCC	有り		
	ポート	RS-232C		
子局入出力割付け	入力	16点		
	出力	16点		
子局同時通報割付け		0点		
子局接続台数設定		1台		
子局エラー監視時間設定		0.0秒		
子局出力保持設定		無し		
二連照合制御設定		有り		
子局エラー監視設定		1回目		